

参加
無料

認知症に対する漠然とした不安を解消する！
終活のヒントを得る！
医療・介護を上手に利用する！

南区会場：つどいの館和光

11/17, 12/15
1/19, 2/2, 3/9

いずれも土曜日・10時半～11時半

緑区会場：大同みどりクリニック

11/24, 12/22
1/26, 2/23, 3/16

いずれも土曜日・13時～14時

※プログラムなど詳細は裏面をご覧ください。

お問合せ：052-611-6261（内線：3229）

わたし
の仕舞い方
もし、**認知症**
になったら、
どう生きてい
きたいですか？



人生の最終章。

もしものとき、どのように過ごしたいですか？

例えば「認知症」。自分で自分のことを決めるのが難しくなるとしたら……。

たとえ認知症になっても安心していただけるように、早いうちから自分の人生の最終段階について、
どう過ごしたいか、どんな医療やケアを受けたいかなどを考えておくことは決して無駄にはなりません。

それは、いま自分自身の生き方について見直すことにもつながるはず。

本講座では「認知症」をテーマに掲げ、

それがどんな病気なのか、身体に、生活に、周囲にどんな変化が起こるのか、そしてどう生きることが可能なのかを、
医療・介護・認知症ケアの専門家からお話し、ともに学び、一緒に考えていきます。

参加お申込みFAX用紙 送り先：052-614-1036

市民公開講座「認知症～わたしの仕舞い方」全5回シリーズ

電話：052-611-6261（内線 3229） メール：k-mitsuda@daidohp.or.jp

FAX: ご参加希望の日にちに○をつけてこの用紙をお送りください。



※いただいた個人情報は厳重に管理し、市民公開講座でのみ使用いたします。

お申込みは
お電話、FAX、
メールの
いずれかで！

代表者様 お名前	代表者含め	人
ご連絡先		

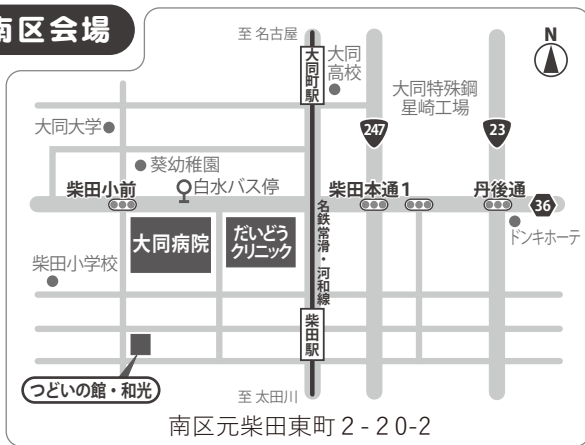
スケジュール 2018年11月～2019年3月

認知機能予防体操「コグニサイズ」なども毎回体験！

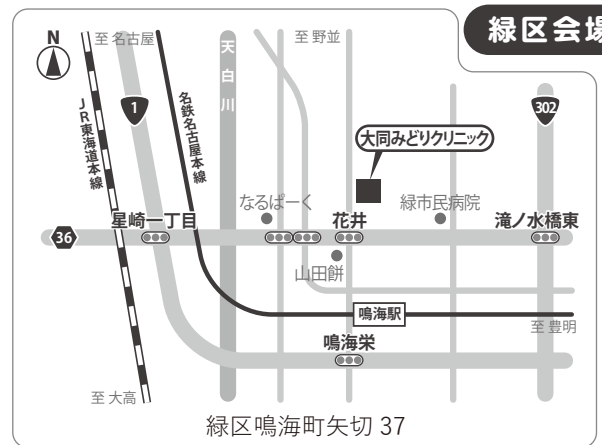
南区会場（つどいの館・和光） 10時半～11時半		緑区会場（大同みどりクリニック） 13時～14時	
第1回 11月17日（土）	認知症になったら 医療・介護は何をしてくれるのか？	第1回 11月24日（土）	認知症になったら 医療・介護は何をしてくれるのか？
第2回 12月15日（土）	認知症になっても 安心して暮らすには？	第2回 12月22日（土）	認知症は治せるか？予防できるか？ この薬、飲んでていいの？
第3回 1月19日（土）	「ゲーム」でシュウカツ仮想体験！ 「大事なこと」を自分で決めるために。	第3回 1月26日（土）	認知症になっても 安心して暮らすには？
第4回 2月2日（土）	認知症は治せるか？予防できるか？ この薬、飲んでていいの？	第4回 2月23日（土）	「ゲーム」でシュウカツ仮想体験！ 「大事なこと」を自分で決めるために。
第5回 3月9日（土）	解明！認知症のアタマの中	第5回 3月16日（土）	解明！認知症のアタマの中

※南区会場と緑区会場では、同じプログラムを順序を変えて開催します。どちらにご参加いただいても、同じテーマで二度参加していただいても構いません。

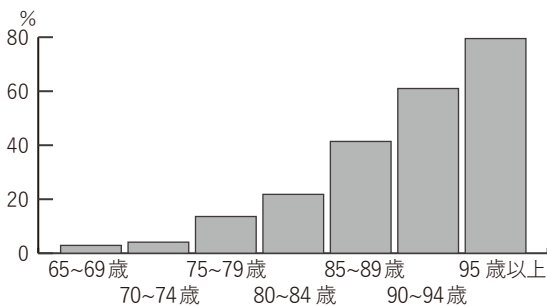
南区会場



緑区会場



高齢者の5人に1人は認知症になる。



人生の最終段階の治療やケアについて

あなたは
今のままで
いいですか？

家族と詳しく話し合ったことがある。 **3%**

あらかじめ自分の希望について
書面に記載しておくことについて賛成。 **70%**

自分の希望を書面に記載していた。 **3%**

認知症とは

いろいろな原因で脳の細胞が縮んだり、働きが悪くなるために、物事を記憶したり、理解・判断する能力、時間・場所・人などを認知する能力などが低下し、生活するうえで支障が出る状態。アルツハイマー型、血管性、レビー小体型、前頭側頭型などいくつかの種類があり、高齢化とともに「認知症」の有病者数、それにより介護を必要とする人の数は急増している。

人生の最終段階における医療・ケア

万が一のときに備えて自身がどんな医療やケアを望んでいるかを考えたり、まわりの信頼できる人たちと話し合ったりすることを「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と呼ぶ。医療機関は、患者に今後予測される経過や、受けられる具体的な治療・ケアについて説明し、話し合い、介護従事者らとともにチームで患者を支えていくことが義務となった。